

平成29年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	経営的視点にたった行財政運営の推進
基本方針	経営的視点の行財政運営がなされるまち
基本施策名	地域情報化の推進

	所属	職名	氏名
作成者	情報統計課	課長	上角 久仁夫
評価者	政策部	部長	上條 芳敬

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	本市は、有線・無線ともキャリアによる通信インフラは、居住地域においてはおおむね全域に整備されています。平成27年度から市の事業として公衆無線LANの整備を行っており、平成29年度末時点で12か所の支所、公民館、交流学習センター等公共施設に整備し、平成30年度以降も観光施設を含め計画的に整備を進めます。 市民の利便性向上と職員の事務処理の効率化に寄与する電子自治体の推進として、ながの電子申請・届出システムの有効利用、公共施設予約システム導入・対象施設拡大、図書館蔵書検索・貸出予約システム導入を実施してきました。特にながの電子申請・届出システムは職員によって手続きの追加を行うことができるため、利用可能な業務を拡大します。
基本方針 (目指すべき方向性)	「安曇野市情報化計画」に沿って地域の情報化を推進し、「知る 参加する 躍動する 情報のまち 安曇野市」を目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H27	H28	H29	達成率	進捗状況	所管課
市内ブロードバンド環境を利用可能な世帯割合	%	100	100	100	100	100	100	順調	情報統計課
電子申請・届出システム (数/様式)	件	3	50	10	28	27	54	停滞	情報統計課

施策指標の進捗状況と分析	市内ブロードバンド環境を利用可能な世帯割合は後期基本計画策定時から目標を達成しています。 電子申請・届出システムについては、パソコン・スマートフォン等を利用し、市民の利便性向上や職員の事務処理効率化に寄与する申請をシステム化するなかで、各種イベントや教室参加申込みでの利用について一部部署には浸透してきました。一方、本人確認が必要な手続きや、金銭の收受を伴う申請等は機能面・運用面で利用できないなど、市民、職員双方にメリットとなる手続きを抽出することが困難な状況です。利用した手続きについては市民の利便性向上や職員の事務処理効率化の効果がみられるため、導入のハードルが低い各種イベントや教室参加申込みでの利用について、全庁的に利用を増やしていく取組みが必要です。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位：円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費					事務事業の状況					重点化	
				H27	H28	H29	H30	H31	合計	事業区分	新/継	終期	方向性		正規職員数
1	0102330	地域・行政情報化推進事業	情報政策係		2,557,582	3,203,624	3,604,000	3,608,000	12,973,206	定型業務	継続	期限なし	現状のまま事業を実施することが適当	1.17	○
2	0102340	ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業	情報政策係		388,048	636,802			1,024,850	定型業務	継続	期限なし	事業効果を高めるための方策を検討	0.25	
合計					2,945,630	3,840,426	3,604,000	3,608,000	13,998,056						

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	ながの電子申請・届出システム有効利用推進事業については、手続き数を増やすために人件費は若干かかるが、直接経費は変わらず、電子申請化することにより市民の利便性が向上するとともに、担当部署の事務処理の効率化に寄与し、組織として人件費の抑制または市民サービスの向上に注力できる。 ICTを活用した市民サービス向上のための費用は、情勢の変化により廃止するものもあるが、増加傾向になる。
重点化事務事業の考え方	市民及び観光客の利便性向上、災害発生時の通信手段の確保を目的とした公衆無線LANの整備を、観光部局、防災部局、教育委員会等と協議しながら整備計画を策定し、計画的に整備していく。 平成29年度に導入したFixMyStreet JapanやUDトークといった市民サービスの向上や職員の事務処理の効率化につながるシステムについては、効果を検証しながら導入していく。
縮減・廃止事務事業の考え方	「安曇野市情報化計画策定事業」については、事務事業評価において妥当性が低いことから事業を廃止し、新たな方針として『情報化基本方針』を策定し、計画的に情報化を推進する。 ICTを活用した市民サービス向上のために導入したシステムについて、稼働状況を把握し、情勢の変化により廃止することも検討する。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出)	平成29年度に観光部局、防災部局、教育委員会等と協議しながら公衆無線LAN整備計画を策定し、その計画に沿って整備を進めることとした。平成30年度においては、豊科近代美術館、豊科郷土博物館、高橋節郎記念美術館の博物館3館と指定避難所となっている三郷文化公園体育館、堀金総合体育館の体育館2館を整備する。 ながの電子申請届出システムは各種イベントや教室参加申込みでの利用について一部部署には浸透してきた。電子化ができない手続きもあるが、より多くの部署での利用を増やしていく取組みが必要である。 安曇野市情報化計画については、平成29年度において計画としてのありかたや策定方針を検討し、情報化計画としては廃止し、より現実的、実践的な方針として情報化基本方針を策定することとした。現在の情報化計画の計画最終年度となる平成30年度に新たな方針としての情報化基本方針を策定する。